

平成23年度 農業技術センター試験研究課題一覧

H23.10.1現在

NO	区分 (財源)	研究課題名	期間	研究概要	担当 グループ
		ブドウを核とした新たな果樹複合経営の技術開発の普及	H19～24	加温デラウェアの収益性向上、デラウェアに替わる新規品目の導入、企業の果樹経営体の創出により、本県ブドウ生産の再構築とブドウ産地維持・拡大を図る	
1	戦略的 (県単)	加温栽培デラウェアにおける効率的な休眠覚醒および生育適温以下で生育促進する台木品種の検討	H19～24	燃料コスト軽減を目的に、低温でも生育良好なブドウの台木品種を選抜し、その効率的な休眠覚醒方法を検討する	果樹
2		高糖度で着色しやすい赤色大粒系ブドウの育種	H19～24	島根オリジナル品種として、赤色・大粒・高糖度で着色性の良好なブドウ新品種を開発する	果樹
3		ブルー・スモモの結実安定・品質向上技術の確立	H19～24	農家経営の安定化を図るため、ブドウの補完品目として導入を進めるブルー、スモモの栽培技術を確立する	果樹
4		農外企業参入における成立条件と支援方策の解明	H19～24	農業参入企業の経営発展過程や地域への経済効果等を調査し、企業参入の成立条件と支援方策を明らかにする	企画調整
5		省エネ低コスト技術の開発	H19～24	保温性の向上による燃料使用量の削減を目的に、複層被覆によるブドウハウス内の環境および樹体への影響を検討する	果樹
		島根の「環境農業」推進技術の開発	H20～23	環境と調和した農業生産活動を推進するため、水稲と野菜の環境保全技術を開発する。水稲は除草剤を使わない栽培方法を確立し、野菜は施肥量軽減技術の現地実証と環境負荷を抑えた新しい養液栽培技術を開発する	
6	戦略的 (県単)	除草剤を使わない水稲栽培技術の確立	H20～23	水田除草機や米ぬか施用等の組合せによる除草剤代替技術を開発し、その効果評価と現地試験により技術普及を図る	作物 土壌環境 企画調整
7		露地野菜の環境保全型栽培技術の確立	H20～23	あすっこ等の環境にやさしい栽培法を開発するほか、県内主要野菜産地で化学肥料削減技術の現地実証を行う	野菜 病虫 特産開発 土壌環境
8		水稲育苗ハウスへの環境保全型野菜栽培技術の導入	H20～23	そば殻やもみ殻を用いた低コスト養液栽培方法を開発し、集落営農組織が所有する水稲育苗ハウスを中心に普及を図る	野菜 病虫 土壌環境
		トルコギキョウの革新的技術の利用と担い手確保に向けた支援プログラムの構築	H22～24	本県が開発したトルコギキョウの切り戻し栽培と低コスト春秋2度切り栽培を確立する。また新規参入を促すための経営モデルを策定し、担い手確保のための支援プログラムを構築する	
9	戦略的 (県単)	切り戻し栽培技術の確立	H22～24	トルコギキョウ切り戻し栽培の安定化を図るとともに、切り下株を利用した二度切り栽培による作型拡大技術の確立を図る	花き 土壌環境 特産開発 企画調整
10		切り戻し栽培のマニュアル化と現地実証	H22～24	試験データ等を基に切り戻し栽培マニュアルを作成し、現地実証試験を行う	
11		担い手確保に向けたトルコギキョウを核とした経営モデルの構築	H22～24	切り戻し栽培技術を核とした経営モデルを作成する	
12		産地形成・担い手確保を目標とした産地形成要因の調査分析と支援プログラムの構築	H22～24	産地形成・担い手確保に向けた産地支援プログラムを作成し、トルコギキョウ産地の拡大を目指す	
<b>《戦略的 小計》</b>			<b>12課題</b>		
13	課題解決 (県単)	イチジク‘蓬莱柿’におけるボックス栽培技術の開発	H20～24	イチジク蓬莱柿について、土壌伝染性病害の回避や施肥の効率化を目的とするボックス栽培技術を確立する	土壌環境 果樹
14	課題解決 (県単)	施設園芸における島根型燃料節減技術の確立	H21～23	暖房燃料使用量の多いイチゴ高設栽培、ブドウ加温栽培及び花き鉢物栽培を対象とし、夜間における燃料節減技術を確立する	果樹 野菜 花き
15	課題解決 (県単)	ナシ早生優良品種の盆前出荷技術の確立	H22～26	県内各産地で課題となっている収穫等労力の分散と高単価確保のために‘なつしずく’等の完熟ナシ(糖度12.5度以上)を高単価な盆前に確実に出荷できる早期出荷技術、早期品種更新技術等の開発を行う	果樹
16	課題解決 (県単)	低DCADイネWCSの生産技術の確立	H22～23	乳牛では、大きな問題となっている低Ca血症に対する要望効果が期待される低DCAD飼料の生産技術を開発する	作物 土壌環境
<b>《課題解決型 小計》</b>			<b>4課題</b>		
17	基礎的 (県単)	水稲奨励品種決定調査	S28～	主要農作物種子法に基づき、本県に適する良質、良食味、多収で障害抵抗性を有する水稲品種を選定する	作物
18	基礎的 (県単)	麦類奨励品種決定調査	S28～	本県に適する良質、安定、多収の麦類の品種を選定する	作物
19	基礎的 (県単)	大豆奨励品種決定調査	S52～	本県に適する良質、安定、多収の大豆品種を選定する	作物
20	基礎的 (県単)	水稲原種・原々種採種事業	S28～	主要農産物種子法に基づき、本県の水稲奨励品種の特性維持のため、原種・原々種の採種を行う	作物
21	基礎的 (県単)	大豆原種・原々種採種事業	S55～	本県の大豆奨励品種の特性維持のため、原種・原々種の採種を行う	作物
22	基礎的 (県単)	水稲作況試験	S61～	気象と生育、収量の関係を調査し、水稲の作柄判定と栽培技術指導の基礎資料とする	作物

NO	区分 (財源)	研究課題名	期間	研究概要	担当 グループ
23	基礎的 (県単)	理化学分析事業	M41～	農家等からの依頼により土壌、農業用水、農作物及び肥料の無機成分や残留農薬の分析を行う	土壌環境
24	基礎的 (県単)	休廃止鉱山対策事業(土壌汚染対策事業)	S46～	土壌汚染防止地域で土壌や作物体の調査を行い、再汚染を監視する。また、地域指定解除のための基礎資料を作成する	土壌環境
25	基礎的 (県単)	果樹・特産作物の生産費ならびに経営調査	S56～	本県で栽培される園芸品目について経営実態調査を行い、各品目の生産費と経済性を明らかにする	企画調整
26	基礎的 (県単)	ホームページ等を活用した研究情報発信	H5～	利用者の便宜を図るため、新しい技術情報や各種データを随時更新し、インターネット上に公開する	企画調整
27	基礎的 (県単)	集落営農における組織間連携・再編方式と作業再委託・分配方式の解明	H21～23	集落営農の持続性確保に向け、組織間連携や作業再委託、収益分配の方法を解明する	企画調整
28	基礎的 (県単)	果樹品種比較試験	S52～	本県の気象及び土壌条件に適応する落葉果樹品種を探索する	果樹
29	基礎的 (県単)	野菜の品種比較(トマト、白ネギ)	H8～	主要野菜品種の特性調査を行う。トマトの葉かび病抵抗性、白ネギの短葉性品種について検討する	野菜
30	基礎的 (県単)	ソバの新品種育成	H19～23	「出雲そば」の生産拡大とブランド化を図るため、超多収性をもつ島根オリジナル品種を作出する	作物 特産開発
31	基礎的 (県単)	ボタン新品種育成	H20～24	種間交配や放射線育種により、花色や日持ち性、香り性等を付加した本県オリジナルなボタン品種を育成する	特産開発
32	基礎的 (県単)	遺伝資源保存と特性調査	H20～24	育種素材や稀少植物など、本県固有の植物資源を保存する。また、効率的な保存方法として超低温保存技術を開発する	特産開発
33	基礎的 (県単)	あすっこ'早生系の育成(選抜固定と特性調査)	H22～24	現在の'あすっこ'は出荷が3～4月に集中して安定取引が困難なため、既に得られている早生系等について選抜固定と特性に応じた栽培技術を確立する	特産開発
34	基礎的 (県単)	アジサイのオリジナル品種育成	H22～24	平成21年度までに育成した有望3系統の形質の安定性、栽培特性の明確化と交配している系統の開花・選抜を行う	特産開発
35	基礎的 (県単)	新規導入花きの安定生産技術の確立	H9～	新しい品目・品種の栽培技術を確立する	花き
36	基礎的 (県単)	花き実証試験	H18～	試験研究で開発した新技術を県内生産者への早期に普及定着するため、実証試験を実施する	花き
37	基礎的 (県単)	病害虫診断事業	H12～	農家・関係機関からの依頼による病害虫の鑑定と防除指導を行い、効率的防除を通じて農作物の生産安定を図る	病虫
<b>《基礎的 小計》</b>			<b>21課題</b>		
38	競争的 資金 (国庫)	カキ'西条'の生理障害を防止する系統選抜と栽培技術の開発(農水省)	H21～23	カキ'西条'の樹上軟化並びに発芽不良の原因を生理、遺伝子発現の面から明らかにする	果樹
39	競争的 資金 (国庫)	高級ブドウ新品種「シャインマスカット」の果皮褐変障害防止技術の開発と普及	H22～24	果皮褐変障害の発生原因を形態学的、生理学的手法で明らかにし、総合的な防止技術を構築する	果樹
40	競争的 資金 (国庫)	鉄コーティング種子を活用した無代かき直播技術の確立	H22～24	鉄コーティング種子を活用した超省力・水質保全型無代かき直播技術を確立する	土壌環境
<b>《競争的資金 小計》</b>			<b>3課題</b>		
41	受託	病害虫発生予察事業	S16～	病害虫の発生調査に基づいた情報提供を行い、効率的防除を推進する。また、未発生害虫チチュウカイミバエの新入を開始する	病虫
42	受託	農薬残留確認調査事業	S48～	マイナー作物の農薬登録を促進するため、登録に必要となる農薬の残留性等について確認調査を行う	土壌環境
43	受託	酸性雨モニタリング(土壌・植生)調査	S63～	環境省の委託事業として、蟠竜故周辺地区の土壌pHや交換性塩基濃度を測定し、酸性雨の実態をモニタリングする	土壌環境
44	受託	農薬残留対策総合調査	H16～	現行の農薬使用基準を環境保全の観点から見直すため、散布後の農薬の作物及び土壌における動態を調査する	土壌環境
45	受託	新農薬実用化試験	S31～	新しく開発された農薬の防除効果、薬害、作物への残留性について試験を行い、農薬登録を促進する	病虫
46	受託	水稲関係除草剤・生育調整剤試験	S32～	作物関係の新しく開発された除草剤・生育調整剤の防除効果、薬害、作物への残留性について試験を行い、農薬登録を促進する	作物
47	受託	落葉果樹関係除草剤生育調整剤試験	S32～	果樹関係の新しく開発された除草剤・生育調整剤の防除効果、薬害、作物への残留性について試験を行い、農薬登録を促進する	果樹
48	受託	野菜関係除草剤生育調整剤試験	S32～	野菜関係の新しく開発された除草剤・生育調整剤の防除効果、薬害、作物への残留性について試験を行い、農薬登録を促進する	野菜
49	受託	減肥基準策定に向けたデータ収集事業	H22～23	減肥基準の作成、減肥試験を実施する	土壌環境
50	受託	適期防除実施判断指標策定事業	H22～26	フジコナカイガラムシ、カキノヘタムシガの発生消長を調査する	病虫
51	受託	農業に有用な生物多様性の指標及び評価手法の開発	H20～23	環境保全型農業が生物多様性の保全向上に及ぼす効果を評価するため、農業に有用な生物の指標と評価手法を開発する	病虫
<b>《受託 小計》</b>			<b>11課題</b>		
<b>【合計】</b>			<b>51課題</b>		